

“バッソ・コンティヌオ”シリーズ第1弾
気鋭のデュオに聴く
世界最高峰のバッハ

Antoine Tamestit & Masato Suzuki Duo Recital
アントワン・タメステイ & 鈴木優人

©Philippe Matsas Harmonia Mundi

デュオリサイタル

J.S. バッハ
J.S. Bach

[ヴィオラ] アントワン・タメステイ
[チェンバロ] 鈴木優人

2022 10.9 (日)

15:00開演(14:15開場)

青山音楽記念館

バロックザール

ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ 第1番ト長調 BWV1027
Sonata for Viola da Gamba and Harpsichord No. 1 in G major BWV1027

ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ 第3番ト短調 BWV1029
Sonata for Viola da Gamba and Harpsichord No. 3 G minor BWV1029

無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番ニ短調 BWV1004 より シヤコンヌ(ヴィオラ編ト短調)
Chaconne for Solo Viola in D minor (Original from Solo Violin BWV1004)

半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903(チェンバロ・ソロ)
Chromatic Fantasy and Fugue in D minor BWV903

ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ 第2番ニ長調 BWV1028
Sonata for Viola da Gamba and Harpsichord No. 2 in D major BWV1028

入場料 一般5,000円(全指定席・税込)

※当日券が販売される場合に限り、学生証の提示により1,500円で入場できます。

チケットの発売は、7月9日(土)10:00より、
バロックザール・オンラインチケットにて販売
<https://barocksaal.com/>



オンライン購入には会員登録が必要です。お支払いはクレジットカード決済、
コンビニ支払いをお選びいただけます。
セブンイレブンでチケットをお受け取りいただけます(手数料無料)。

お問い合わせ 青山音楽記念館 バロックザール

Tel.075-393-0011受付=9:30~18:00(月・火/休館) 夏季休館:8月12日(金)~18日(木)

主催 公益財団法人青山音楽財団

※新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。
バロックザールのWEBサイトをご確認の上ご来場ください。■館内では常時マスクの着用をお願い致します。

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。
※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は致しかねます。予めご了承ください。
※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。
※当公演のチケットは「特定興行人場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。

〈バッソ・コンティヌオ〉シリーズ第一弾に寄せて

昨年の11月に初めて訪れた京都・上桂のバロックザール。
響きが美しく、落ち着いた木の温もりに囲まれて余韻を味わいながら演奏できたことを
記憶しています。今年からは、主催公演の一部に新設される〈バッソ・コンティヌオ〉という
シリーズの企画構成に携わることになりました。

バッソ・コンティヌオとは「通奏低音」。バロック音楽の根幹を成す演奏法です。

低音の上に即興で奏でられる豊かな通奏低音の響きのように、このシリーズもバロック音楽を礎に、
西洋音楽全体を俯瞰するような、広がりのあるシリーズにしたいと思います。

新しい京都のホームグラウンドで、シリーズ初回到私の親友で、ウィーンフィルやベルリンフィルとも
共演する世界的なヴィオラ奏者であるアントワン・タメスティをお迎えできることになり、
大変嬉しく思っています。この後も充実した企画の続く〈バッソ・コンティヌオ〉を
是非ご一緒にお楽しみください。

鈴木優人



Antoine Tamestit

©Julien Mignot

■アントワン・タメスティ (ヴィオラ) Antoine Tamestit, viola

今世界で最も活躍しているソロ・ヴィオラ奏者。パリ生まれ。ジャン・スレム、ジェシー・レヴァイン、タバア・ツィン
マーマンに師事。ARDミュンヘン(2004年)を始め4つの国際コンクールで1位受賞。2021年シーズンはロンドン
交響楽団のアーティスト・ポートレート及びドレスデン国立歌劇場管弦楽団のアーティスト・レジデントとして多
くの協奏曲、室内楽に出演。バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、世界初演も多い。2015年
にはJ. ヴィットマンに献呈されたヴィオラ協奏曲をP. ヤルヴィ指揮パリ管、ハーディング指揮バイエルン放響及びス
ウェーデン放響等と初演。この他T. エスケシュ、B. マントヴァーニ、O. ノイヴィルトによる作品の初演も行って
いる。今シーズンはウィーン・フィル、ゲヴァントハウス管等と共演。これまでにバイエルン放響、チェコ・フィル、ケル
ン放響、ウィーン響などに登場。共演指揮者にはJ. E. ガーディナー、ゲルギエフ、ハーディング、ヤノフスキ、パッパ
ーノ、F. X. ロト等が挙げられる。

フランク・ペーター・ツィンマーマン、クリスチャン・ボルテラとの「トリオ・ツィンマーマン」の創設メンバーでもある
他、G. カブーソン、カヴァコス、パユ、ティヴェルギアン等とも室内楽を共演。

ハルモニア・ムンディとの録音が多く、最新のリリースに鈴木優人とのJ. S. バッハ: ヴィオラ・ダ・ガンバソナタがある。

2013年より今井信子と共にヴィオラ・スペースの企画・プログラミングに携わっている。

Habisreutinger財団より貸与されている1672年製ストラディヴァリを使用。



Masato Suzuki

©Marco Borggreve

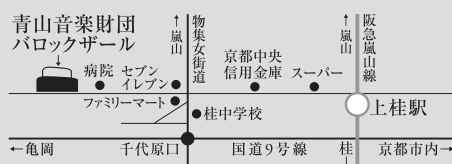
■鈴木優人 (チェンバロ) Masato Suzuki, Harpsichord

1981年オランダ生まれ。東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第
71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。
第29回(2021年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。2018年9月よりバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指
揮者、2020年4月から読売日本交響楽団指揮者/クリエィティブ・パートナーに就任。音楽監督を務めるアンサン
ブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開する。2017、
2020年には鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズを制作、上演。モンテヴェルディ: 歌劇「ポッペアの戴冠」
(2017)、ヘンデル: 歌劇「リナルド」(2020)はバロック・オペラの新機軸として高く評価されるとともに、後者は第
19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック: 歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」(勅使河原三郎新演出)
で新国立劇場に指揮者として初登場。作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J. S. バッハBWV190喪失
楽章の復元や(Carus)、モーツァルト『レクイエム』の補筆・校訂が(Schott Music)、高い評価を得ている。メディアへ
の露出も多く、NHK-FM「古楽の楽しみ」レギュラー、テレビ朝日「題名のない音楽会」にもゲストとして出演して
いる。録音はBCJとのJ. S. バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(HarmoniaMundi)など多数。
調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各
方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter/@eugenesusuzuki

Facebook/masatosuzukimusic

Instagram/masatosuzukimusic



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月・火休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 <https://barocksaal.com/>

公益財団法人青山音楽財団

私たちは、音楽活動の普及と発展のための
支援事業と音楽ホールの運営を行っています。

〈事業内容〉●主催公演事業 ●新人助成公演事業 ●助成公演事業 ●青山音楽賞[新人賞・青山賞・バロックザール賞]
●育成支援事業[学校等支援事業・奨学金事業] ●青山音楽記念館バロックザール 運営
www.aoyama-music-foundation.or.jp